



今回の探検先は… ALSOK 東京ガードセンター

警備会社ALSOKが提供する警備サービスの1つ、機械警備の集中監視システムが置かれているのがガードセンター。365日24時間、お客様の身体・生命・財産を守っている。鍛え抜かれたALSOKのガードマンたちは、このガードセンターからの指示で動く。各所にあるガードセンターの中でも、東京ガードセンターは東京の主要エリアを統括している。

●探検実施日：2014年7月30日(水)

🔒 警備ってどんな仕事かな？
本格的な夏を迎えた7月30日、しごと探検隊に選ばれた小学生20名がアイテムの探検先はALSOK東京ガードセンター。ユニークなTVCMでお馴染みのALSOKは、子どもたちも知っている有名な警備会社だ。警備とはどのような仕事だろう、という問いかけに、子どもたちからは「一人を守る！」「お金を運ぶ！」などの声があがる。日常生活で見かける警備員の仕事を、子どもたちなりに認識しているようだ。



警備キャラクター
まもる隊長(左)・かける隊員(右)



「人命に関わる緊急な警報が入ると赤のランプが光ります。より迅速な対応が必要になるので、周りの監視員も協力して動きます」と、説明を聞いている最中に、なんと赤ランプが点灯。子どもたちにも緊張が走る。

「ここでは、1日に約1300件の通報が入ります。その内、実際の事件や事故は10件程度です」ほとんどは操作ミスなど異常がない場合が多いそうだ。今回もそうだったようで、子どもたちも安堵の表情を浮かべる。警備の仕事は「何事もないことが一番大切」だということを学んだようだ。

🔒 防弾チョッキの重さにびっくり！

次に施設警備を担当している間さんから、警備員の仕事の話を聞く。「警報が鳴ると、先ほど見学した東京ガードセンターの監視員から連絡が入り、私たち警備員が現場に駆けつけます。異常がないかどうかを確認し、

安全を守るスペシャリスト 警備の仕事は、身近なところにも！

「それでは、実際に働いている人に詳しく聞かに行こう！」
それぞれが期待に胸を膨らませ、今回の探検が始まった。

🔒 365日24時間守ってくれる ALSOK 東京ガードセンター

ALSOK 東京ガードセンターに到着すると、営業部の櫻井さんが出迎えてくれた。まずはビデオで警備の仕事について学ぶ。ALSOKは1965年創業。現在約2万8000人が働く警備会社だ。365日24時間、お客さまの身体・生命・財産を、最新のセキュリティシステムと鍛え抜かれた警備員が守っている。警備の仕事は大きく分けて4種類。商業施設やオフィスビルなどを警備する「施設警備」。マラソン大会や花火大会など、イベントの安全を守る「雑踏警備」。銀行ATMの現金輸送など、現金を安全に目的地に輸送する「輸送警備」。依頼主の身の安全を守る「身辺警護」。東京ガードセンターの川越さんが、警備の仕事にも様々な種類があることをわかりやすく説明してくれた。



何かあった場合合はすぐに対応します。その間、監視員との連絡は欠かせません」そして警備員がいつも身につけている物を見せてくれた。ヘルメット、警戒棒、ライト、刃物を通さないグローブ、そして契約しているお客さまの鍵。それら全てを装着する防弾チョッキは総重量4kgにもなる。子どもたちは一人ずつ装備を試着。「重い！」「強くなった気がする！」「実際に警戒棒を持つてみたり、防弾チョッキの堅さを試したりと、大盛り上がりだった。警備員が普段どれだけ重いものを身につけているのかを、体感できたようだ。

🔒 セキュリティの要、東京ガードセンター

次に、子どもたちは館内を見学。広々としたフロア、そして前面にある巨大スクリーン。フロアには、たくさんのパソコンが並び、ヘッドセットを着けた大勢の監視員が働いている。契約先に設置された防犯・防災センサーからの警報信号を受信する場所だ。セキュリティ上室内には入れないため、ガラス越しでの見学となる。「ここでは、60〜70名の監視員が働いています。監視員は、警報を受信するとの確に状況を判断し、素早く現場に近い警備員に指令を出します。また必要があれば警察などに通報を行います」と説明してくれた。フロアを見渡すと各パソコンの横には赤・黄・緑・青のランプが立っている。



🔒 色々な人が支えてくれる私たちの生活



アイテムに戻った子どもたちは、各班に分かれ一日の感想などをまとめ、発表。ガードセンターの役割や、警備員の仕事についてしっかりと学び、理解していた。日頃からALSOKが「かけつけサービス」を提供しているキッズケータイを使っている子が「このブザーを引くと東京ガードセンターに繋がると話してくれた。今回の探検では、警備の仕事は、制服を着ている人だけでなく色々な人が協力して、私たちの暮らしの安全を支えてくれていることを実感できたようだ。



感想コーナー

- いつもは入れないところに入れて体験でした。
- かんし室にはたくさんの方がいて、それぞれの方が協力して、東京の安全をまもっているんだと思った。
- かんし員のことはあまり知らなかったけど、今回の体験を通してくわしく知ることができました。改めてセキュリティのすごさを学びました。
- とても勉強になりました。夏休みの自由研究に使おうと思います。

ALSOK城西支社 営業部 櫻井 慎也さん



社会の安全を守る裏方として、表舞台にはあまり出ることのない警備の仕事。短い時間でしたが、警備にはどんな種類がありどんなことをしているのかを勉強してもらいました。警備の仕事は、2020年に開催される東京オリンピックでも必要不可欠となる重要な仕事です。普段、みなさんが何気なく生活している裏で安心・安全のために働く仕事があることを、将来の仕事を考えるときの参考にしてもらえれば嬉しいです。

●「アイテムしごと探検隊」ご協力のお願い
訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会を一緒に提供していただけますか？
お問い合わせはアイテムまで ☎0120-938-989